

島人の宝
豊かな海を
守る

石西礁湖

自然再生

▲枝状ハマサンゴとネットアイズズメ

石西礁湖はいま シリーズ⑨

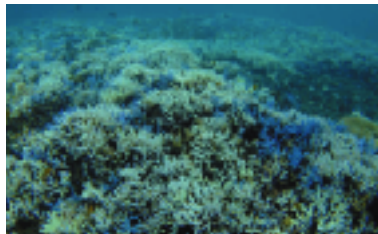
石西礁湖のサンゴ礁の状態

石西礁湖は南北約15km、東西約20km、日本最大規模のサンゴ礁域です。高緯度域でありながらフィリピン海域やグレートバリアリーフと肩を並べるところが近年、石西礁湖では白化現象が頻繁に見られるようになり、石西礁湖の内部では、半分以上のクシハダミドリイシ(最も多く見られる卓状サンゴの一種)が死亡したと報告されています。ただ、すべてのサンゴ群集が壊滅的な状態となつたわけではありません。大半の海域でサンゴ被度が大きく減少したものの、2007年夏に起きた白化の影響をあまり受けなかった石西礁湖の北側礁斜面では、比較的良好な状態を保っています。現状をまとめますと、次のことが言えます。

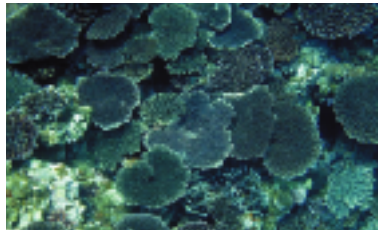
○石西礁湖内のサンゴ群集は、危機的な状況にある。○複数の要因によるサンゴ被度低下と幼生供給量が少ないのが原因である。

○2001年以降、オニヒトデの大発生の兆しが見え始め、現在は広範囲で大発生が起きている。○環境悪化、ストレスなどにより、サンゴ群体に病気や矮小化が蔓延している。

○白化現象は1998年から頻発し、その間隔が短縮傾向にある。○近年、強大化する台風のため、サンゴ被度が低下している。



2007年9月の白化時の石西礁湖



回復過程にある北側礁斜面部

石西礁湖の今後の課題としては、①北側礁縁部など健全な状況にあるサンゴ群集のモニタリングを継続するとともに、ゾーニングしたうえで保全し、「幼生供給源」としての機能を発揮させる、②石西礁湖内で高温耐性を備えたと思われる群体に着目しておく、③考えられる生産技術や保全活動は、今のうちに成熟させ蓄積しておく、④私たちに出来ることとして、島の周辺環境がこれ以上悪くならないようにする、などが挙げられるでしょう。

「北側礁縁部」「ゾーニング」「幼生供給源」「高温耐性」などの言葉が、石西礁湖の未来を考える重要なキーワードになります。

現状は「待たなし」を通り過ぎ、「サンゴが悲鳴を上げ崖から転がり落ちている状態」です。他人任せではなく、一人一人がサンゴ礁に負担をかけない行動を今すぐ起こして欲しいと願っています。



「東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム2008」の講演より 「石西礁湖周辺のサンゴ礁の現状と今後の展望」

八重山サンゴ礁保全協議会会長 吉田 稔

石西礁湖のサンゴ礁保全・再生の課題

サンゴ礁保全に関する国際シンポジウムを開催しました!

去る2008年11月25日(土)に、石垣市民会館にて開催した「東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム2008」をご報告します。

当日は約150名もの方々にご参加いただき、参加者とパネリストとの間で活発な質疑応答が交わされました。事後に参加者を対象としたアンケート調査を行ったところ、国内外の各地域における様々な取組に高い関心が集まりました。また、サンゴ礁保全のために自分自身ができることについては、「私たち地域住民がサンゴ礁保全についてもっと学び、周りの人々にその重要性を伝える」や「暮らしの中で生活排水やCO2排出を抑制する」といった意見が多く寄せられました。



講演 東アジアのサンゴ礁保全への取組

国内外の海洋生態学研究者5氏から、各地域におけるサンゴ礁の危機的現状と保全に関する地域の取組を紹介いただきました。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1) 「インドネシアにおけるサンゴ礁の管理について」 | Jamaluddin Jompa (ハサヌディン大学教授) |
| 2) 「東南アジアの沿岸生態系保全に関する新しい取組」 | Miguel D. Fortes (フィリピン大学教授) |
| 3) 「台湾のサンゴ礁保全・再生への取組」 | Chang-feng Dai (台湾大学教授) |
| 4) 「石西礁湖周辺のサンゴ礁の現状と今後の展望」 | 吉田 稔 (八重山サンゴ礁保全協議会会長) |
| 5) 「石西礁湖における海洋保護区の取組」 | 鹿熊 信一郎 (沖縄県八重山支庁農林水産整備課主幹) |

パネル ディスカッション サンゴ礁保全と地域コミュニティの役割

サンゴ礁保全に向けた地域社会の役割や、私たちが生活や産業の中でサンゴを守っていく方法について、参加者からの質問を交えながら話し合いました。

- コーディネーター
土屋 誠 (琉球大学理学部長)
- パネリスト
上村 真仁 (WWF サンゴ礁保護研究センター長)
他、上記の講演者

パネル展 国内各地における10名以上の個人・団体の協力のもと、サンゴ礁保全の取組に関するパネル展示を行いました。



※協議会の資料や議事録は、ホームページでご覧になれます <http://shizensaisei.com/>

編集
発行

石西礁湖自然再生協議会運営事務局

環境省 那覇自然環境事務所 内閣府 沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

【住所】〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27 環境省石垣自然保護官事務所内

【電話】0980-82-4768 【FAX】0980-82-0279

【E-mail】okironc@coremoc.go.jp 【自然再生ホームページ】<http://shizensaisei.com/>

石西礁湖自然再生協議会を開催しました

石西礁湖の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻すため、自然再生推進法に基づく

「石西礁湖自然再生協議会」を平成18年2月に設置し、様々な取組を進めています。

今回のニュースレターでは、第9回協議会と、本協議会主催で行った

「東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム2008」の様子をご紹介します。

石西礁湖の自然再生を目指す「石西礁湖自然再生協議会」の第9回協議会を、平成20年10月24日(金)に石垣市で開催しました。

4回目を迎えたグループディスカッションでは、これまでの議論の中間報告を行うとともに、今後の進め方も踏まえ、より具体的な議論内容となりました。特に、資金メカニズムグループより発議のあった「石西礁湖自然再生協議会寄付金等細則」については、協議会の承認を得るとともに、付随機関として「石西礁湖サンゴ礁基金運営委員会」の委員が推薦されました。その他、生活利用に関する検討部会の報告や東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム開催の連絡を行いました。



第4回 グループディスカッション

石西礁湖 自然再生事業の 実施に向けて

「陸域対策グループ」及び「普及啓発グループ」は、自然再生を進めていく指針となる「行動計画」の作成に向け、各委員が活動を展開していくための体制づくりについて、ワークショップ等を開催し議論を深めています。一方、「資金メカニズムグループ」では、寄付金に関する細則をはじめ、資金メカニズムの具体的な枠組み等について検討しているところです。

赤土及び栄養塩の流出防止対策

①陸域対策グループ(赤土・生活排水等の流入対策)



座長 大見謝 辰男
沖縄県八重山支庁八重山福祉保健所 生活環境班長

○赤土：関係者、関係機関と連携しながら、新しい農業技術等に関する普及啓発を進めるべき。
○栄養塩・合併浄化槽への転換整備や、下水道接続率向上のためには、キャンペーンや助成制度が有効。
○これからの陸域対策は、普及啓発及び資金対策を充実させていくことが不可欠である。

ワークショップでの議論を踏まえたサブチーム(観光・地域コミュニティ)での議論

②普及啓発グループ(サンゴ礁保全の意識向上・広報啓発)



座長 灘岡 和夫
東京工業大学大学院 情報理工学研究所 教授

○観光：観光者への啓発とともに、観光業関係者への啓発・意識改革を促して行くことが重要。
○地域コミュニティ：石西礁湖に対する地域住民の思いといった基礎情報をしっかり把握した上で、普及啓発の方法を具体化していくことが必要。

○普及啓発の取組プランは、参加型方策などの能動的なものであることが重要。
また、取組プランを実現し情報を共有していくため、強力な事務局機能が不可欠である。

細則案及び運営委員の提案

③資金メカニズムグループ



座長 恵 小百合
美ら島流域経営赤土流出抑制システム研究会
①石西礁湖自然再生協議会規約第16条(寄付金等)についての一
部変更の発議。協議会にて承認。
②石西礁湖自然再生協議会寄
付金等細則についての発議。協議会にて承認。

○基金事務局は、メンバーリストで協議会委員の皆様にも候補を挙げていただきたい。
○寄付者は、寄付金等の使途をあらかじめ指定できることとする。
○基金の運用フロー、サンゴサポーターについては、引き続き検討していく。
○運営委員については、各座長及び本グループメンバーを中心に推薦したい。



事務局挨拶



環境省那覇自然環境事務所長
奥田 直久

7月末に着任しました。沖縄の赴任は初めてですが、これまで本省でサンゴ礁の保全や野生生物の担当として沖縄にはいろいろと関わってきたので、何となく故郷に帰ってきたという気分です。
協議会の皆様には、既に再生の取組を進めていただいているので、私も勉強させていただきながら、環境省としてもできる限りの努力をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

Sekisei Lagoon Gallery 石西礁湖ギャラリー



グランプリ「石垣の夢」
近藤雅樹様



佳作「私の好きな石垣の優しい海」米田正代様



金賞「天女が見守る海」眞田浩様

一昨年春に開催された「2007ダイビングフェスタ石垣島」のフォトコンテスト入賞作品をご紹介します。

提供：八重山ダイビング協会

※このコーナーに掲載する写真を募集しています。簡単なコメントと写真を裏面のお問い合わせ先までお送りください。皆さんのすばらしい写真をお待ちしております。